

PACガーディアンズ通信

PAC-Guardians

第8号

2010 理事長あいさつ

2010年5月1日

PACガーディアンズはこれまで千葉県の補助や厚労省の助成を受けて活動を継続して参りました。

この先、補助金がなくなるとどうなるかも考えなくてはなりません。PACガーディアンズの活動資源の最大のもはご家族や賛助会員の皆様のボランティア活動であることを再認識します。有償ボランティア的なものが無償になるかもしれませんが、活動の方針は変わりません。

成年後見支援もコミュニティフレンド活動も、「大きな活動」から「地道な活動」となるようにしていきます。県内の権利擁護ネットワークの、一つのコアとしての役割が果たせればよいのかなあと、個人的には思っています。

大きな活動については、やはり社協ですね。県社協はじめ県内のいくつかの社協が、後見支援と受任に積極的に取り組む姿をみせてくれています。市町村申し立てについても、千葉県は全国的に見て積極的であるとのデータが出ています。社協や市町村の動きに積極的に関わり、連携を深めて行きたいと思っています。

佐藤彰一

♪♪～コミュニティフレンド交流会

3月27日にコミュニティフレンド交流会を開催しました（共催：船橋市育成会）
ソプラノ歌手の中村初恵さんと伴奏の方が、華やかなドレスで登場し、響き渡る声で何曲も演奏。飛び入りの方がジャズピアノを演奏したり、ビンゴ大会もあって、活動に参加するパートナー、コミュニティフレンド、親など関係者80余名が楽しみました。

いつもは1対1で会っているコミュニティフレンドですが、グループの活動もあって良いし、また今回のようなみんなが集まる交流会もあって良いと思います。

コミュニティフレンドの目的は、知的障害・発達障害の方々の新しい出会いや暮らしの豊かさを広げることなので、今後もみんな考えていきたいと思っています。スタッフならびに関係者各位のご尽力に感謝します。

副理事長 名川 勝

※ すてき！ あたたか！
はっぴいな1日！ ※

心のこもったおもてなしが快
い1日でした。生ソプラノを聴け
て本当にしあわせ。娘が飽きたと
きの“非常食（ポテトチップ）”
もあり最後まで楽しみました。

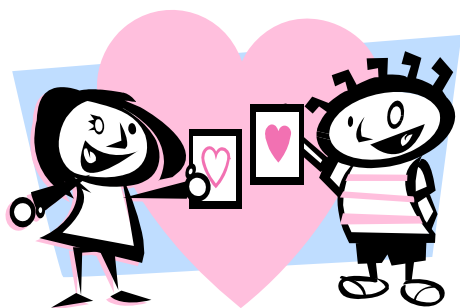
Rさん母

自由に振舞う息子に、皆
さまの温かい目。ほっとしま
した。みんな一緒！
Very happy!で
した。

Aさん母

コミュニティフレンド（CF）交流会・余話

全員で80名近い参加者でした。12組のCF活動参加ペアと親御さん、CFだけの参加は5名、CF養成講座参加者など、興味を持ってくださっている方々のほかに、DVDを作ってくれている Our Planet TV のカメラマンの平野さんが盛り上がっている会場で、全ての場面を撮ってくれていました。平野さんは前回、DVDを作るときもとても優しい視線を、障害をお持ちの方に向けてくれていましたが、このパーティの中でも一人一人にカメラを向けると皆が生き生きと表現している様子が見られました。心が通じるのですね。 松本智子



コミュニティフレンドが 千葉県の社会参加促進事業に・・・

千葉県の「県とNPOとの協働事業提案」に、PACガーディアンズの「コミュニティフレンド（CF）活動促進事業」が採択されました。これは千葉県関係課とNPOが協働で事業を進めていくものです。詳しくは千葉県のホームページをご参照下さい。私たちのCFの事業は障害福祉課と協働になります。

昨年度は10件の応募があり、いくつかのプレゼンテーションや審査の末にたった2件が選ばれるという厳しいものでした。今年度、1年弱の間に千葉県全体に広報を進めるとともに、講習会などを県の主催で実施、CFを養成します。また、各市町村や社協への説明を進め、障害のある人の社会参加を促進する事業として、積極的な関わりと利用を目指していくこととなります。皆さんも各市町村への紹介を、どうぞよろしくお願いします。

副理事長 名川勝

PACガーディアンズのホームページの検索は

<http://pacg.jp/>

定例勉強会

4月13日（火）、定例勉強会が行われました。

勉強会のテーマは「社会福祉協議会の成年後見への取り組み」 70名もの参加がありました。

千葉県社会福祉協議会は「成年後見制度研究委員会」を設け、調査・研究を行ってきた「県内社協が行なう法人後見モデル」を中間報告として公表しました。そこで、この内容と県内先進社協の取り組みの勉強会を行ないました。予定以上の参加者数となり、資料が足りなくなる盛況ぶりでした。

報告では「住民に身近な市町村社協が法人後見を実施し、県社協はその支援を行なうことがふさわしい」とし、法人後見イメージ図が示されました。実現が期待される仕組みとなっています。

次に千葉市、浦安市、柏市社協の取り組みの説明がありました。柏市は今年度中の実施を目指しているようですが、3社協とも高齢者のみならず、判断能力の不十分な障害者本人、その家族のニーズや思いを受け止められる態勢を作りたいと、意気込みを感じる説明でした。

シンポジウム形式の質疑では、進行を務めた当法人の小川理事の、会場からのご質問の復唱と補足説明が分かりやすかったと、参加者の感想が寄せられました。

司会の田川事務局長が「県・市社協の取り組みに期待するだけでなく、我々も積極的に参画したい」と結び、充実した勉強会となりました。久保田美也子

第3回後見人養成講座終わる

1月30日、2月13日に第3回後見人養成講座を行いました。39名の方が終了され、11名が後見人候補者として登録してくださいました。PACガーディアンズに登録された市民後見人は、合計31名になりました。

特定非営利活動法人 PAC ガーディアンズ

理事長 佐藤彰一

事務局 船橋市西習志野4-24-17

Tel 047-465-9022 FAX も同じ

E-mail pacg@lisonlc.com